

# 光る星座早見帽を作ろう

暗やみにポーッとうきでる星座をながめて、星座や星と仲よくなれるような帽子の形をした星座早見帽を作ってみましょう。

必要なもの

- ・材料……星座図と帽子のつばを印刷した画用紙（B4またはハツ切り）3枚、蓄光のり絵の具
- ・道具……のり、はさみ、セロハンテープ、ホットキス、色ペンなど

## A 帽子の作り方

- 1 星座図を見て、どんな星座がどこにあるかをひととおりながめる。(図1)
- 2 線にそって星座図を切る。このとき、北極星の円の部分を切り落とさないように注意する。(図2)
- 3 三角のところをあらかじめ内側に、丸めておく。(図3)
- 4 三角のところののりしろを内側に折り、折り目をつけておく。(図4)
- 5 2枚の星座図をのりしろのところでつないで丸くする。(図5)
- 6 三角のところののりしろに、のりをつけ、1つずつとなりの三角と、はりあわせていく。内側からよく押さえる。(図6)
- 7 最後に北極星の裏にのりをつけ、帽子のてっぺんをふさいで、本体はできあがり。(図7)
- 8 つばを線にそって切りはなす。
- 9 つばの内側の曲線にそって、丸めながら山に折っていく。(図8)
- 10 本体の日付の線と、つばの中心線があうように、はりあわせる。(図9)
- 11 画用紙に残っているつばの裏側（5時から11時までの線がついているもの）になる部分を切り取る。
- 12 日付の線と、8時の線があうように、つばの裏側にはりつけて、帽子の完成。(図10)
- 13 今度は帽子の内側の星のうち、蓄光のり絵の具で、ポーッと浮かび上がらせたい星や星座に、

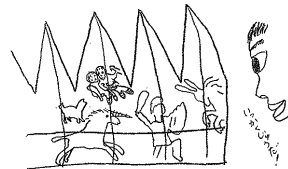


図1 星や星座を見る

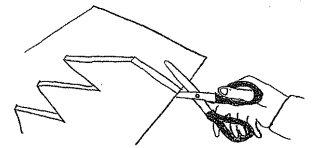


図2 ハサミで切る

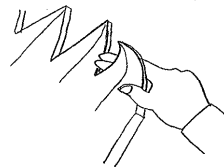


図3 三角のところを丸めておく

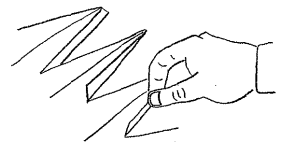


図4 のりしろに折り目をつけておく

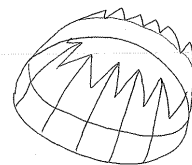


図5 つなげて丸くする

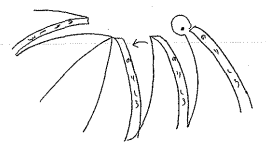


図6 三角どうしをはりあわせる

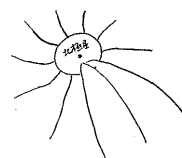


図7 北極星を最後にはりつける



図8 つばを山に折る

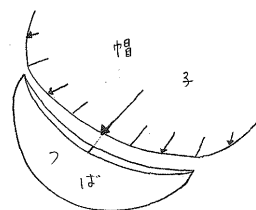


図9 帽子の日付の線とつばの中心をあわせてはる

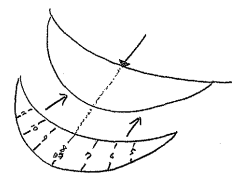


図10 日付の線と8時の線があうようにはる

大ききのちがいで、<sup>いっとうせい</sup>一等星、<sup>くべつ</sup>二等星などと区別しながら色をつける。(図11)

14 のり絵の具がかわくあいだに、<sup>そとがわ</sup>帽子の外側や<sup>もよう</sup>つばの部分に色ペンなどで、<sup>えが</sup>模様や絵を描いて仕上げ、<sup>しあ</sup>星座早見帽の完成。(図12)

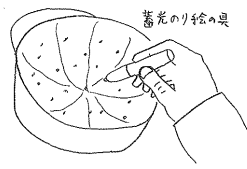


図11 色をつける



図12 外側を飾る

## B 使い方

### 1 <sup>ひる</sup>昼

そのままながめて、いろいろな星座がどんなところにあるのか、調べる。

星座をつくっているひとつひとつの星にも<sup>なまえ</sup>名前があることをたしかめる。

また、帽子の内側を明るいところに向けて、光をあてておき、<sup>くら</sup>暗い場所に持っていき、ポーツと光る星座を見る。

### 2 夜

そのままながめて、いろいろな星座がどんなところにあるのか、調べる。

星座をつくっているひとつひとつの星にも名前があることをたしかめる。

また、<sup>へ</sup>部屋の<sup>しょうめい</sup>照明に向けて光をあてておき、暗がりポーツとうきあがる星座を見る。

また、窓から、または外に出て、<sup>みなみ</sup>南側の<sup>よぞら</sup>夜空に向かっ、<sup>じこく</sup>時刻の<sup>か</sup>書いてあるつばのところを持って帽子の内側を見て、<sup>じっさい</sup>実際の星座とくらべる。

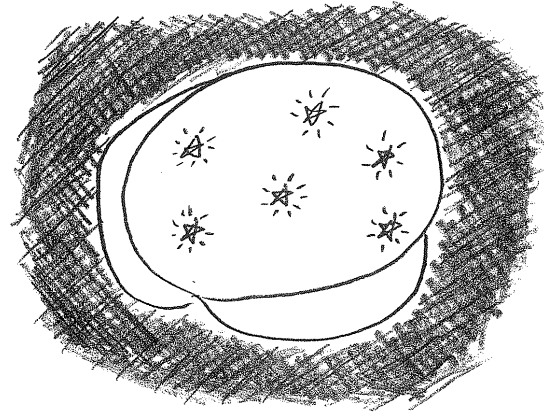


図13 暗くして見ると……

星座図には、一ヶ月おきに、夜8時に見られる位置を示してあるので、<sup>きせつ</sup>季節によって、つばをつける位置を、変えられるように、クリップなどで<sup>かりどめ</sup>仮止めしておいてもよい。

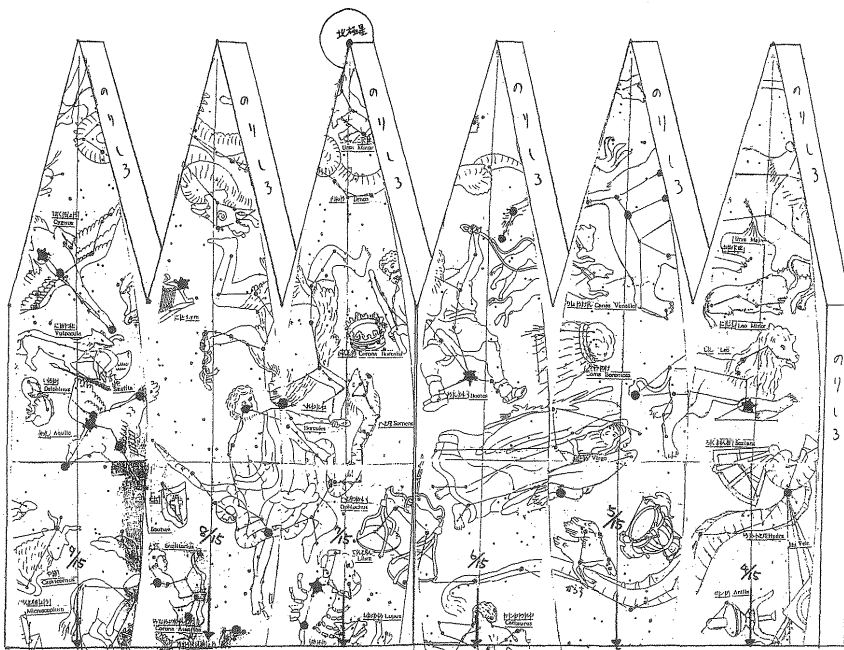


図14 帽子の中 その1